

令和5年度版

# 置賜地域の概況

令和5年7月

山形県置賜総合支庁

# 目 次

1	置賜地域の主要指標	1
2	置賜地域の概要	
	(1) 位置と地勢、土地利用、気象	2
	(2) 置賜の由来と歴史	3
3	人口及び世帯数	5
4	経済の概況	
	(1) 総生産額	6
	(2) 就業人口	〃
	(3) 地域別経済規模	〃
5	製造業	
	(1) 事業所数、従業者数、製造品出荷額等、付加価値額	9
	(2) 構造の特色	10
	(3) 農工団地の現況	11
	(4) 工場立地の動向	12
6	商業	
	(1) 商店数、従業者数、年間販売額	13
	(2) 購買依存率	〃
	(3) 大規模小売店舗の状況	15
7	雇用・労働	
	(1) 労働相談状況	16
	(2) 労働組合数及び組合員数	〃
	(3) 離職者の状況	〃
	(4) 求人・求職者の状況	17
	(5) 新規学卒者の就職状況	〃
8	観光	19
9	農業及び林業	
	(1) 農林水産業の主要指標	22
	(2) 専・兼業別農家数及び農家人口等	23
	(3) 認定農業者等	24
	(4) 農業法人の状況	26

(5) 土地利用型作物の栽培状況.....	26
(6) 園芸作物の栽培状況.....	27
(7) エコファーマーの認定状況.....	28
(8) 特別栽培農産物の認証状況.....	29
(9) 家畜飼養状況.....	”
(10) 農業農村整備の概況.....	30
(11) 森林の概況.....	32
10 教育、文化及び県民生活	
(1) 学校数及び児童・生徒・学生数.....	34
(2) 進学及び就職状況.....	38
(3) 主な文化施設.....	41
(4) 主な伝統文化.....	42
(5) 主な文化財.....	43
(6) 県民活動・NPOの状況.....	44
(7) 交通事故発生状況.....	45
(8) 火災発生状況.....	46
(9) 自主防災組織の整備状況.....	47
11 環境	
(1) 廃棄物対策.....	48
(2) 環境保全対策.....	50
(3) 自然環境の保全等.....	51
(4) 地球温暖化防止対策.....	54
12 保健福祉と医療	
(1) 保健・福祉・医療の主要指標.....	55
(2) 生活保護の現況.....	56
(3) 高齢者福祉の現況.....	57
(4) 介護保険、要支援・要介護認定の現況.....	”
(5) 少子化の現況.....	59
(6) 児童福祉の現況.....	60
(7) 障がい福祉の現況.....	61
(8) 医療関係施設の現況.....	62

(9) 基準病床数.....	63
(10) 死因別死亡数.....	64
13 社会資本	
(1) 道路の現況.....	65
(2) 鉄道の現況.....	66
(3) 河川の現況.....	67
(4) 砂防の現況.....	”
(5) ダムの整備状況.....	68
(6) 上水道の普及状況.....	”
(7) 都市計画の現況.....	69
(8) 県営住宅の整備状況.....	70
(9) 飛行場の整備状況.....	”
14 県税の状況.....	71
15 置賜地域各市町の行財政と将来ビジョン.....	72
16 地域指定.....	80
17 置賜地域の市町一覧.....	81
18 第4次山形県総合発展計画 置賜地域の発展方向(概要).....	82

# 置賜地域の主要指標

(5月末現在)

項目	年次	単位	山形県 (A)	管内 (B)	米沢市	長井市	南陽市	高島町	川西町	小国町	白鷹町	飯豊町	B/A (%)	
総面積	5	km <sup>2</sup>	9,323.15	2,495.24	548.51	214.67	160.52	180.26	166.60	737.56	157.71	329.41	26.8	
人口 年齢構成	総人口	4	人	1,040,971	195,994	79,601	25,765	29,544	21,720	13,854	6,811	12,386	6,313	18.8
	年少人口 (0~14)	4	人	113,436	20,772	8,277	2,743	3,277	2,522	1,375	618	1,286	674	18.3
	生産年齢人口 (15~64)	4	人	565,527	106,408	45,979	13,537	15,885	11,645	6,810	3,362	6,104	3,086	18.8
	老年人口 (65~)	4	人	362,008	68,814	25,345	9,485	10,382	7,553	5,669	2,831	4,996	2,553	19.0
	老年人口割合	4	%	34.8	35.1	31.8	36.8	35.1	34.8	40.9	41.6	40.3	40.4	
県内総生産額	1	億円	43,367	8,199	4,029	973	1,014	687	404	394	396	302	18.9	
1人当たり県民所得	1	千円	2,901	2,810	3,070	2,760	2,715	2,508	2,297	3,232	2,455	2,674	96.9	
就業人口	第1次産業 (構成比)	2	千人 (%)	48.7 8.7	8.6 8.0	1.5 3.5	1.0 6.8	1.5 9.4	1.7 13.8	1.3 16.4	0.3 8.2	0.7 10.6	0.6 16.8	17.7
	第2次産業 (構成比)	2	千人 (%)	160.6 28.6	37.6 35.0	14.8 34.5	5.3 38.1	5.2 31.8	4.4 35.9	2.5 32.3	1.6 43.6	2.5 37.0	1.2 34.4	23.4
	第3次産業 (構成比)	2	千人 (%)	353.1 62.8	61.2 57.0	26.7 62.1	7.7 55.1	9.6 58.8	6.2 50.3	3.9 51.2	1.7 48.2	3.5 52.4	1.8 48.8	17.3
	計		千人	562.5	107.3	43.1	14.0	16.3	12.4	7.7	3.6	6.7	3.6	19.1
	総農家数	2	戸	39,628	7,766	1,301	1,005	1,107	1,210	1,117	360	1,104	562	19.6
販売農家数	2	戸	26,796	5,000	758	612	769	903	837	180	478	463	18.7	
基幹的農業従事者数	2	人	39,034	7,067	1,061	789	1,295	1,519	1,137	161	583	522	18.1	
耕地面積	4	ha	115,000	23,500	4,400	2,920	2,570	3,750	4,900	1,020	1,860	2,080	20.4	
水稻収穫量	4	t	365,300	72,470	13,700	10,100	6,740	11,900	17,300	2,140	4,340	6,250	19.8	
森林面積	3	ha	671,090	191,887	41,958	14,647	9,590	10,494	7,855	69,368	10,193	27,781	28.6	
工業 主要業種 出荷額	製造品出荷額等	1	億円	28,456	8,539	5,865	500	573	547	264	359	227	203	30.0
	従業者1人当たり	1	万円	2,816	3,239	5,179	1,369	1,768	1,868	1,978	2,783	1,403	2,084	-
	付加価値額	1	億円	10,785	2,648	1,445	246	273	199	93	218	102	72	24.6
	食料・飲料等	2	億円	3,666	319+x	162	13+x	47	127	x	x	x	x	-
	繊維	2	億円	422	119	62	1	45	x	2	x	5	x	33.4
	土石	2	億円	1,120	523	213	24	27	x	0	217	x	0	48.8
	金属	2	億円	1,027	281	107	83	42	17	x	0	x	18	27.4
	機械	2	億円	3,032	906	461+x	71+x	65+x	141+x	9	x	30+x	x	28.3
	電子	2	億円	5,848	1,169	908	88	28	72	x	0	x	x	18.9
	電機	2	億円	1,484	752	443	12	211	34	5	0	x	x	54.2
情報	2	億円	3,205	2,726	2,686	x	0	x	x	x	0	0	89.5	
工場立地件数	3	件	26	4									25.0	
商業	小売業販売額	28	億円	11,597	2,083	1,015	312	337	144	101	46	92	37	18.0
	従業者1人当たり	28	千円	19,945	18,639	19,618	19,871	18,648	16,060	17,343	13,636	16,688	14,129	93.5
	卸売業販売額	28	億円	13,285	1,226	817	174	87	129	8	2	3	5	9.2
従業者1人当たり	28	千円	64,663	41,973	45,403	35,113	33,585	53,197	12,353	16,663	12,052	22,905	64.9	
その他	観光者数	3	万人	3,006	623	245	88	61	53	40	28	61	47	20.7
	高校等進学率	4	%	99.5	99.1	99.1	99.5	99.6	99.5	96.9	98.3	99.0	100.0	
	大学等進学率	4	%	49.5	47.3	46.3	52.3	47.3	44.2	41.1	47.1	54.2	47.8	
	高卒県内就職率	4	%	80.2	78.9	73.3	78.2	85.2	86.2	80.6	88.2	86.2	60.0	

注：単位未満四捨五入のため、各数の計は一致しない場合がある。

0・・・四捨五入のため単位未満のもの X・・・秘密の保持上、秘匿のもの 空欄・・・該当数値なし

資料：

- ①「総面積」は、「令和5年全国都道府県市区町村別面積調(R5.1.1現在)」による。
- ②「人口」は、「令和4年山形県の人口と世帯数」による。なお、総人口には年齢不詳を含む。
- ③「県内総生産額」「一人当たり県民所得」は、「令和元年度市町村民経済計算」による。
- ④「就業人口」は、「令和2国勢調査就業状態等基本集計結果報告書」(山形県企画振興部)による。  
※計には、「分類不能の産業」を含む  
※構成比は、分母から「分類不能の産業」を除いて計算している
- ⑤「農業」は、「2020年農林業センサス」、「作物統計調査」、「東北農政局市町村別統計」、「令和3年度山形県林業統計」による。  
※「基幹的農業従事者」とは、個人経営体でふだん農業に従事している15歳以上の者。
- ⑥「工業」は、「山形県の工業-令和3年経済センサス-活動調査 製造業に関する結果報告書-」による。(従業員4人以上の事業所)  
※山形県全体の従業者一人当たりの製造品出荷額等は、「消費税を除く国内消費税額」と「推計消費税額」を除いている。
- ⑦「工場立地件数」は、「2021年工場立地動向調査結果」による。
- ⑧「商業」は、「平成28年山形県の商業 平成28年経済センサス-活動調査(卸売業・小売業)に関する結果報告書」による。
- ⑨「観光者数」は、「令和3年度山形県観光者数調査」による。
- ⑩「高校・大学等進学率」及び「高卒県内就職率」は、「令和4年度学校基本調査報告書」による。

## 2 置賜地域の概要

### (1) 位置と地勢、土地利用、気象

置賜地域は、東北地方山形県の南部に位置し、東南置賜（米沢市、南陽市、高島町、川西町）、西置賜（長井市、小国町、白鷹町、飯豊町）の3市5町からなっている。東西最大56km、南北最大57kmの総面積2,495.24k㎡を有し、県総面積の26.8%を占めている。

南方は吾妻山地・飯豊山地を境に福島県及び新潟県に、東方は奥羽山脈を境に宮城県及び福島県に、北方は朝日山地・白鷹山を境に村山地域に、西方は朝日山地を境に新潟県に接している。位置的に置賜の中心は北緯38度、東経140度にあり、同緯度の都市としてワシントン、アテネ、リスボン、ソウル等の都市がある。

明治時代、英国の女性旅行家イザベラ・バードがこの地を訪れたとき、その実り豊かな大地と人情の温かさから“東洋のアルカディア（理想郷）”と称した土地でもある。米沢、長井、小国の各盆地からなる地形環境は、磐梯朝日国立公園や県南県立自然公園などの優れた景観に赤湯・小野川・白布といった多様な温泉、四季折々の花回廊や独特の食文化を生み出している。

山形県の“母なる川”最上川（松川）の最上流部に当たる米沢市は、中世以降城下町として発展し、伊達氏や上杉氏にまつわる史跡も多い。かつて大谷地が広がっていた南陽市、高島町や川西町には、縄文・古墳時代の遺跡や古社・古刹などの名所旧跡が今なお残る。

最上川と飯豊山系に源を発する置賜白川・野川などとの合流地点には長井市が位置し、良質で豊富な水量に恵まれ、米沢藩の舟運流通の中心地として、紅花の産地である白鷹町とともに遠く関西などとの交易で栄えた。日本海側との玄関口である小国町や、田園散居集落が広がる飯豊町は、豪雪地帯である一方で、わが国有数の豊かな自然環境を有する地域である。

土地利用状況は、森林が1,918k㎡、農用地が237k㎡、水面・河川・水路・道路が117k㎡、住宅地・工場用地等が69k㎡となっている。

#### ◇県土の利用形態別面積（令和3年10月1日現在）

（単位：k㎡、%）

		森林	農用地	原野	水面・河川 水路・道路	住宅地・ 工場用地等	その他	計
山形県	面積 (構成比)	6,710 (72.0)	1,161 (12.5)	8 (0.1)	527 (5.7)	294 (3.2)	624 (6.7)	9,323
	対県比	28.6	20.4	25.0	22.2	23.5	24.4	26.8
置賜	面積 (構成比)	1,918 (77.0)	237 (9.5)	2 (0.1)	117 (4.7)	69 (2.8)	152 (6.0)	2,495
	対県比	28.6	20.4	25.0	22.2	23.5	24.4	26.8

注：四捨五入のため合計と内訳の計が一致しないことがある。

資料：令和3年山形県統計年鑑

#### ◇県内地域別気象（令和4年）

	平均気温	年降水量	平均風速	年間日照時間	最深積雪
置賜（米沢）	11.6℃	1,712.0mm	1.4m/秒	1,687時間	154cm
村山（山形）	12.6℃	1,177.5mm	1.8m/秒	1,744時間	88cm
最上（新庄）	11.5℃	2,421.5mm	2.6m/秒	1,432時間	176cm
庄内（酒田）	13.6℃	2,113.5mm	4.2m/秒	1,657時間	43cm

資料：気象庁HP

## 置賜地域



### (2) 「置賜」(おきたま)の由来と歴史

「置賜」という言葉は、もともと「u-ki-tomam」(“ウキタム”「広い、葦のはえている、谷」という意味)のアイヌの言葉に由来するといわれており、優嗜曇の字をあてはめたものと思われる。歴史上最初に出てくるのは「日本書紀」であり(陸奥国優嗜曇郡)、その後「延喜式」には「オイタム」の訓がふられている。

「置賜郡」という言葉は古来より使用されており、訓示方はいろいろと見受けられるが、江戸時代の上杉藩から勘定所へ提出した「出羽国置賜郡村仮名附帳」には「ヲイタマ」とあり、「オイタマ」も広く用いられていたのではないと思われる。

明治時代に入り、山形県の前身のひとつとなる「置賜県」が「米沢県」から改称して成立した(明治4年11月)頃には「オキタマケン」と言われていた。このころから、公的には「オキタマ」という呼び名が急速に普及したものと考えられる。明治11年には「郡区町村編成法」により置賜郡は南置賜郡、西置賜郡、東置賜郡に分割され、郡役所が置かれた。詳細な資料は見あたらないが、ここでも「オキタマグン」とある。

現在、行政地名としては「オキタマ」が定着しており、「オイタマ」という呼称を使用している例は少なくなっている。

## ◇原始・古代

小国町を中心に旧石器時代の遺跡があり、縄文時代の遺跡も一円に確認されている。当時は平地も豊かな食料をもたらす落葉広葉樹林におおわれていたものと思われ、かつての大谷地の中心にある遺存湖、白竜湖周辺の日向洞窟遺跡(高島町)の約1万年前の地層からは、山形県最古の土器の一つが出土している。

古墳時代の古墳は多数確認されているが、中でも全長96mの稲荷森古墳(南陽市)は、大型前方後円墳の日本海側最北限とされている。

奈良時代になると、置賜郡として陸奥国に属したが、和銅5(712)年には、最上郡(現在の村山、最上地域)とともに出羽国に編入され、出羽国はほぼ現在の山形県の範囲となった。

平安時代中期の和名類聚抄では、置賜郡内には置賜、広瀬、屋代、赤井、宮城、長井等の郷名が見られる。後期以降は、成島荘、屋代荘、北条荘といった荘園が成立していった。

## ◇中世・近世

鎌倉時代に入ると、奥州藤原氏攻めに功績のあった関東武士団が各地の地頭に任命された。置賜地域では大江氏が土着し、長井氏を称して地方領主となっていった。

南北朝期になると、福島盆地を基盤とする伊達氏が長井氏を滅ぼして置賜地域に進出し、戦国期にはその本拠を置賜地域に移した。永禄10(1567)年米沢に生まれた、独眼竜の異名を持つ政宗の代になると、米沢城を拠点に置賜や現在の宮城県南部、浜通りを除く福島県を版図とする南奥羽最大の大名となった。伊達氏が豊臣秀吉の奥羽仕置により国替えとなった後は、置賜は蒲生領を経て現在の会津・福島・庄内地域等とともに上杉氏の所領となり、米沢城には重臣・直江兼続が入った。

関が原の戦い後の慶長6(1601)年、敗れた西軍方の上杉景勝が本拠を会津若松城から米沢城に移し、米沢藩が成立した。当初は福島盆地の伊達・信夫と長井(置賜)の三郡を領有したものの、後に置賜以外の領地を失うなど減封を重ねたことにより、財政は疲弊した。しかし、九代藩主治憲(鷹山)の改革等により存続し、幕末には仙台藩とともに奥羽越列藩同盟の中心となった。

## ◇近代・現代

米沢藩は明治4(1871)年、廃藩置県により米沢県に置き換えられ、その後置賜県と改称した後、明治9(1876)年の山形県(第二次)・鶴岡県との三県合併を経て、現在の山形県を形成した。県置賜支庁がほどなくして廃止された後、昭和17(1942)年に戦時体制下の機関として東南置賜・西置賜の各地方事務所が設置されていたが、平成13(2001)年に管内の出先機関と統合し、新たに「地域振興の拠点」として置賜総合支庁が設置された。

市町村の状況では、明治22(1889)年に市制・町村制が施行されると、米沢は全国30の都市とともに初めての市となり、1市2町(宮内、長井)46村の体制となった。その後は市町村の廃置分合が進み、昭和42(1967)年に南陽市が誕生した後は、置賜地域は3市5町の体制となっている。

資料：山形県史、山形県HP



### 3 人口及び世帯数

令和4年10月1日現在における山形県の総人口は1,040,971人であり、前年に比べ13,758人（自然減少10,537人、社会減少3,221人）、1.30%の減少となった。一方、置賜地域の人口は195,994人であり、前年に比べ2,869人（自然減少2,247人、社会減少622人）、1.44%の減少となった。

山形県の総世帯数は400,895世帯であり、前年に比べ1,303世帯、0.33%増加し、また、1世帯当たりの人員は2.60人であり、前年の2.64人より減少している。一方、置賜地域の世帯数は75,169世帯であり、前年に比べ418世帯、0.56%増加した。

#### ◇人口及び世帯数（令和4年10月1日現在）

（単位：人、％）

	総数	世帯数	1世帯 当たり人員
米沢市	79,601	33,677	2.36
長井市	25,765	9,540	2.70
南陽市	29,544	10,836	2.73
高畠町	21,720	7,395	2.94
川西町	13,854	4,453	3.11
小国町	6,811	2,811	2.42
白鷹町	12,386	4,361	2.84
飯豊町	6,313	2,096	3.01
置賜	195,994	75,169	2.61
山形県	1,040,971	400,895	2.60
置賜／県	18.8	18.8	

資料：「令和4年山形県の人口と世帯数」

#### ◇置賜地域の人口推移

